

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公開番号】特開2010-254729(P2010-254729A)

【公開日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-045

【出願番号】特願2009-102690(P2009-102690)

【国際特許分類】

C 0 8 L 33/08 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 51/06 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 33/08

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 51/06

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月9日(2012.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

成分（A）、成分（B）及び成分（C）を含み、かつ植物由来樹脂を 25 質量%以上含む環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物であって、前記成分（A）はアクリル酸アルキルエステル及びアクリル酸アルコキシアルキルエステルの少なくとも 1 種を主成分とし、かつエポキシ基含有単量体を 0.5～15 質量%含む単量体混合物を共重合して得られるアクリルゴムが 40～70 質量部であり、前記成分（B）は植物由来樹脂が 30～60 質量部であり、前記成分（C）はエチレン及び極性単量体から形成されるオレフィン系重合体セグメントと、少なくともアクリル酸アルキルエステルを含むビニル系単量体から形成されるビニル系共重合体セグメントとからなるグラフト共重合体又はその前駆体であって、かつオレフィン系重合体セグメントとビニル系共重合体セグメントとのうちの一方のセグメントがマトリックス相を形成し、他方のセグメントが前記マトリックス相中に分散相を形成する前記グラフト共重合体又はその前駆体が成分（A）及び成分（B）の合計 100 質量部に対して 1～15 質量部である前記環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物。

【請求項 2】

前記に示す成分（A）、成分（B）及び成分（C）に、成分（D）としてさらに可塑剤を成分（A）100 質量部に対して 60 質量部以下含有することを特徴とする請求項 1 に記載の環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物。

【請求項 3】

前記に示す成分（A）、成分（B）、成分（C）及び成分（D）からなる環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物を、成分（A）の 100 質量部に対して 0.05～5 質量部の架橋剤で動的架橋することによって得られる請求項 1 または 2 のいずれかに記載の環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物。

【請求項 4】

架橋剤がポリカルボン酸である請求項 3 に記載の環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物を成形して得られる成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

第 4 の発明は、架橋剤がポリカルボン酸とする第 3 の発明に記載の環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物。

また、第 5 の発明は、第 1 の発明～第 4 の発明の環境配慮型熱可塑性エラストマー組成物を成形して得られる成形品である。